

	単元名と学習内容(地理15 歴史13)	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
4月	1. オリエンテーション 1 幸せに生きるために ～社会の学ぶ意義と学び方	・人間をよく知ることで、幸せに生きるための学問に興味を持つ。		・ノートの取り方、予復習の仕方、授業の受け方の基本を身に付ける		よりよく生きる、共に生きるという教科の目標を知る
5月	2. 地理1 世界と日本の基本構成 2 地球はどんな星か 3 地球の番地 緯度と経度 4 緯度の違い 暑さと寒さ 5 経度の違い 6 3つの世界地図 7 かんたん世界地図のかきかた 8 世界の国 国の形・名前・種類 9 世界の国調べ 10 世界の国調べまとめ	・地球全体の様子から出発して世界と日本の多様な姿に興味を持ち、調べようという意欲を持つ。 ・違いの背景には合理的な理由があることを知り、自分たちの社会と地域の生活を見直す視点を持ち始めることができる。	・気温の違いを四季の変化と混同せずに緯度の違いから説明できる。	・緯度経度で地球上の位置を示すことができる。 ・四季の変化を資料図から読み取る。 ・6大陸3大洋の世界地図を書くことができる ・日本地図を描くことができる	・6大陸3大洋5大州の名前を正確に知っている。 ・次の世界の主な国・地域の名前と位置を言える。 ・アメリカ合衆国・中華人民共和国・韓国・ロシア・EU・イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・インド・ブラジル・オーストラリア	
6月	2. 歴史1 世界の原始時代 9 歴史とは何か～トーランドの男のなぞ(または姥山殺人事件) 10 サルからヒトへ 11 トの進化 12 農業の発見 13 文明の発生 14 四大文明野のその後～東洋と西洋 15 特別授業～スパルタクスの反乱1～ 16 スパルタクスの反乱2 17 ■中間テストと振り返り 予備3	・歴史の学び方、奥の深さに興味を持つ。 ・ヒトの起こりを学ぶことで、人間として生きていくことの意義に気づくことができる。	・歴史の流れを暗記でなく、因果関係で考えることができる。 ・直立二足歩行が視野の広がりや手の使用につながり脳を発達させていったこと説明できる。 ・氷河時代が終わったことが農業の発見＝新石器時代につながることを説明できる	・資料を正しく使って推理できる ・猿人と新人の頭骨を比較し、違いに気づき差異を理由を考察することができる ・四大文明の資料から共通点とその原因を考え説明できる ・道具(石器金属)から歴史の進化を説明できる	・化石人骨名、四大文明の場所と内容、ローマ帝国と漢帝国の主な文化を知っている。	人間とは何かを考察することから 3-3 生きる喜び 3-1 生命尊重 1-5 向上心
6月	3. 歴史2東アジアと日本の古代国家形成1 21 ヤマトと浜北人 日本の旧石器時代 22 蜷塚と伊場 日本の新石器時代 23 邪馬台国の時代 小国家形成 24 二つの鉄剣 ヤマトの統一 4. 地理2世界の人々の生活と環境 25 世界の気候と地形・人口分布 26 熱帯と乾燥帯 27 温帯 28 冷帯と寒帯 29 世界の気候のまとめ 30 民族と宗教 31 ■期末テストと振り返り	・原始時代の日本列島と日本の国家ができるまでの歩みに興味を持ち、原始古代の歴史を身近に感じる。 地球の基本構成・地球全体の自然や民族の差異を知り興味を持って学ぼうとする意欲を持つことができる	・列島のなりたちから、新石器時代が特殊な発展の仕方をしている理由を説明できる。 ・気候と地形の違いの背景にある自然法則に気付くことができる。各地の人々の暮らしの相違点と共通点の背景にある自然・歴史の影響を説明できる。	・旧石器・縄文・弥生・古墳時代の資料から各時代の特色を読み取ることができる。 ・気候グラフの読み取りができる。自然や民族の資料を読み取って特色を説明できる	・旧石器、縄文、弥生時代の代表的な遺物、倭奴国、邪馬台国、ヤマト王権の基本的なことを知っている。 ・4気候帯 10気候の特色と名称、世界の民族・宗教の分布等を知っている。	自然の多様性とそこの生活する人間の努力を知ることから 3-2 自然愛・畏敬の念
7月	5. 東アジアと日本の古代国家形成2 32 「聖徳太子」のなぞ律令国家への道1 33 大化クーデター 律令国家への道2 34 壬申の乱 律令国家への道3 35 敏達天皇の都 律令国家の完成 36 伎倍の村人 律令国家の民衆		・小国家分立「倭人」→部族連合「倭国」→律令国家「日本」への過程を説明できる。氏姓制度と律令国家のちがいを土地と人民の支配のあり方から説明できる。 ・原始古代の世界と日本の流れを説明できる。 ・世界と日本の地理事象の背景を考えられる。	・国家形成過程を資料を使って説明できる ・文書資料を鵜呑みにしない態度を身に付ける。 ・氏姓制度と律令国家の違いをイラスト資料から読み取ることができる。 ・原始古代資料を使い時代を説明できる。 ・緯度経度、地図の仕組みを知り使える	・聖徳太子、大化改新、壬申の乱の流れについて基本的なことを知っている。 ・律令国家の基本原則を知っている。	日本の国家形成が中国の影響を受けて進んだことを知ることから 4-9 伝統文化 4-10 国際理解
	通信簿記載 1学期目標	歴史と地理の興味を持ち、身近に感じて調べようと思えることができる			・原始古代の歴史、世界と日本の基本構成を知っている。	

社会科年間指導計画 中学1年 2学期

2013.3 野島恭一

	単元名と学習内容(地理20歴史12)	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
9月	<p>6.地理3世界の地域(2)アジア・アフリカ</p> <p>37 五つのアジア 鉢テーマ「多様性」</p> <p>38 中国 1 自然気候文化 old china</p> <p>39 中国 2 政治・経済 china now</p> <p>40 中国 3 現状と課題</p> <p>41 朝鮮 歴史と現在・将来</p> <p>42 東南アジア 多様な世界</p>	<p>・アジアの多様性、アフリカの貧困に興味と問題意識を持ち、2つの地域の地誌をノートにまとめて自分で調べたことや考えたことを付け加えることができる。</p>	<p>・衣食住の多様性の背景にある気候地形や歴史の違いに気づき、原因となるできごとをノートに書き出すことができる。</p> <p>①アジアの自然の多様性を、降水量におけるモンスーンの影響を中心にまとめることができる。</p> <p>②中国の現状を日本の高度成長と比較し相似点相違点を考えることができる</p> <p>③貧困を生み出す政治経済とその背景にある歴史文化要因に気づき解決の方法を考える</p>	<p>・雨温図・降水量分布(1000mm)・気温分布(25℃) 地図と農作物分布との関係を読み取ることができる。</p> <p>・人口や経済統計の基本図(人口ピラミッド・出生率・GDP 統計など)を読み取ることができる。</p>	<p>・アジアアフリカの主要地形・地名(東北・靴・靴中・靴・西域・長江・黄河・チベット高原・タクラカン・ゴビ砂漠・モン川・ガングジ川・インドス川・デカン高原・ヒンドスタン平原・イラン高原・ナイル川・ニジェール川・大地溝帯・サヘル地方・サハラ砂漠) 社会事象(モンスーン・儒教・仏教・イスラム教・プランテーション・カースト制度・奴隷制度・部族対立・アパルトヘイト等)を知っている。</p>	<p>貧困からの脱却を目指すアジアアフリカの努力を知ることから</p> <p>4-5 勤労・社会奉仕</p> <p>1-4 理想の実現</p> <p>4-2 公德心・社会連帯</p>
10月	<p>43 西・中央アジア 石油とイスラム</p> <p>44 アフリカ 鉢テーマ「貧困」</p> <p>45 カカオ農園の子どもたち</p> <p>46 虹の国南アフリカ アパルトヘイト克服</p>					
11月	<p>7.歴史3古代から中世へ</p> <p>47 オリエンテーション 農民の様子</p> <p>48 律令政治の変質～摂関政治</p> <p>■中間テスト</p> <p>49 律令政治の変質2～地方政治の乱れ</p> <p>50 国風文化</p> <p>51 武士の起こり今昔物語より</p> <p>52 院政と平氏</p> <p>53 源平の内乱1</p> <p>54 源平の内乱2</p> <p>55 鎌倉幕府の成立</p> <p>56 承久の乱 封建社会の成立</p> <p>57 元寇1～東アジアの中世</p> <p>■期末テストと振り返り</p> <p>58 元寇2 なぜ負けなかったのか</p> <p>59 鎌倉文化と武士の生活</p> <p>60 鎌倉新仏教</p>	<p>・古代から中世への歴史について、機械的な暗記ではなくさまざまな事象や人物にに興味を持つことができる。とくに、地方民衆の自立、東アジア各民族の自立という視点に興味を持つことができる。</p>	<p>・古代後期に比べ多様化する中世初期の生活資料や文化資料を使って、古代と中世の違いを説明できる。</p> <p>・東アジア各地の民族自立の動きを様々な資料(新安沖沈没船・清明上河図・各民族の文字など)から気づくことができる</p>	<p>・次のできごとや人物名を知っている。</p> <p>・堀田永年私財法・摂関政治・藤原道長・国司・平清盛・源頼朝・源平内乱の主な内容・守護地頭・承久の乱・後鳥羽上皇・北条政子・御成敗式目・執権・御恩と奉公・元寇・東アジアの民族自立と国風鎌倉文化</p>	<p>武士発生の経緯を学ぶことから</p> <p>1-2 強い意志</p> <p>元寇撃退の背景にあった東アジア諸民族の努力を知ることから</p> <p>4-10 国際理解 人類愛</p>	
12月	<p>7.地理4世界の地域(3)ヨーロッパ・北アメリカ</p> <p>61 ヨーロッパ州 鉢テーマ「先進国」</p> <p>62 自然と気候 フランス料理</p> <p>63 EU 統合と産業</p> <p>64 先進国の可能性 環境・品質・技術</p> <p>65 ロシア ソ連型社会主義からの離陸</p> <p>66 アメリカ 鉢テーマ「超大国」</p> <p>67 アメリカンスピリッツ 歴史と精神</p> <p>68 巨大な農業 wheat harvest</p> <p>69 巨大な工業 GE & BOEING</p> <p>70 アメリカの課題 世界の反発と格差</p>	<p>・ヨーロッパと北アメリカの先進国の豊かさに興味を持ち、キリスト教文明・資本主義など共通する特色や価値観を知りさらに詳しく調べてみようとするができる。</p> <p>・格差や移民問題などアメリカとヨーロッパの抱える問題に気づく</p>	<p>・背景にある歴史・成熟した資本主義経済・キリスト教の倫理観・福祉国家づくりを調べ、現在の豊かさの理由を説明できる。</p> <p>・ヨーロッパとアメリカの資本主義経済の巨大な生産力を資源・土地・人のあり方と関連づけて説明できる。</p>	<p>・地図統計の資料を使って、ヨーロッパアメリカの産業・生活水準・交通のあり方を読み取ることができる。</p>	<p>・ヨーロッパ北アメリカの主要地形・地名(地中海・アルプス山脈・イベリア半島・北ドイツ平原・北海・バルト海・ライン川・ドナウ川・スカンジナビア半島・北大西洋海流・偏西風・ロッキー山脈・五大湖・アラチャ山脈・中央平原・プレーリー) 社会事象(アングロサクソン・ラテン・スラブ・EU・ヒスパニック・穀物メジャー・自動車産業・航空機産業の立地等)を知っている</p>	<p>アメリカの多様な価値観を知ることから</p> <p>4-8 郷土愛・人類愛</p>
	<p>通信簿記載 2学期目標</p>	<p>・古代～中世の歴史に興味を持つことができる</p> <p>・アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカについて興味を持って調べることができる</p>	<p>・古代～中世の日本とアジアの動きを民衆の成長と結び付けて説明できる。</p> <p>・アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカの地理的特色の理由を考える。</p>	<p>・古代～中世の様々な資料で時代の特色を説明できる。</p> <p>・アジア・アフリカヨーロッパ・アメリカの特色を資料を使って説明ができる</p>	<p>・古代～中世の歴史の基本的な内容を知っている</p> <p>・アジア・アフリカ・ヨーロッパ・アメリカの基本事項を知っている</p>	

社会科年間指導計画 中学1年 3学期

2013.3 野島恭一

単元名と学習内容(地理15歴史6)		観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
1月	<p>8. 歴史4 中世の日本と東アジア</p> <p>71 鎌倉幕府の滅亡 後醍醐と尊氏 72 尊氏と義満のやり方 守護大名と半済 73 陸の悪党・海の倭寇 勘合貿易 74 東アジア世界 ネットワークの形成 75 疱瘡地蔵が語ること 土一揆 76 民衆の成長 77 室町の文化 78 戦国大名 室町のまとめ</p>	<p>・自力救済と下剋上が基本だったこの時代の人々の生き方や考え方や生活文化のレベルまで深めて学ぼうとすることができる。とくに、この時代が現在の人々のあり方につながる大きな転換点だったことに興味を持つ。</p>	<p>・室町時代がなぜ不安定だったのかを民衆の成長の様々な場面（農業生産・流通交易・生活文化・思想宗教）から説明できる。</p>	<p>・中世の様々な資料を使って民衆の成長の様子、現代の人々のあり方との関連を説明できる。</p>	<p>・次のできごとや人物名を知っている。・建武新政・南北朝の内乱・悪党・倭寇・守護大名・戦国大名・日明貿易・勘合・堺と博多・土一揆・下剋上・琉球王国・後醍醐天皇・足利尊氏・義満</p>	<p>中世の様々な人間模様を知ることから1-2強い意志1-5向上心</p>
2月	<p>9. 地理5 世界の地域(4浦アメリカ・オセアニア)</p> <p>79 南アメリカ フォルクローレからテーマ「環境」 80 コーヒーとブラジル 日系史 81 アマゾン生態系保護</p> <p>■学年末テスト5</p> <p>82 オセアニア有袋類の不思議 テマ「他地域とのつながり」 83 オーストラリアと日本 巨大ダンプ 84 オセアニアと日本 椰子の実と haka</p>	<p>・南半球の2つの新世界の独自性に興味を持ち、環境・日系人・地域同士のつながりなどを意欲的に調べ学ぼうとする。</p> <p>・インドの例に国を調べるレポートを作り、クラス全体に発表する活動に意欲的に取り組むことができる</p>	<p>・コーヒー農場・牧羊、石炭・鉄鉱石などの農産物の資源を大量に供給するやり方の成立条件を説明できる。</p> <p>・世界の州別地図にのせる事情の背景を考えることができる</p> <p>・生態系保護をはじめとする環境問題、日系人の歴史と現状、先住民文化との共生を自分の問題として身近なことから考えることができる。</p>	<p>・地図統計や写真などの資料から資源供給の様子を読み取ることができる。</p> <p>・インドのレポートを自分の決めたテーマにしたがって効果的にわかりやすくまとめ発表できる</p>	<p>主要地形地名(アマゾン・アンデス山脈・ブラジル高原・パンパ・デ・イング山脈) 社会事象(大農場・超大型機械による大量採掘・大量輸送など)</p> <p>・インドの基本事項を知っている。インドの気候地形(ガンジス川・デカン高原・ヒンドスタン平原)インド綿の歴史・インド社会の基本問題(カースト制・イスラムとヒンドゥーの宗教対立) BRICS</p>	<p>資源がどこから来るかを知ることから4-2公德心・社会連帯</p>
3月	<p>10. 地理6 インドを調べる</p> <p>85 インドの自然 カレーの秘密 86 インドの産業 綿花の秘密 87 インドの社会 映画ガンディーより 88 インドレポート作成 89 // 90 レポート発表会</p>	<p>・中世後期までの社会のあり方に興味を持ち歴史人物レポートをまとめる</p> <p>・世界全体の様子を知り、各地域の特色をノートにまとめることができる</p>	<p>・中世まで歴史を、民衆の成長という視点から説明できる。</p> <p>・世界の各地域を調べた内容の背景となる理由を、自然と経済と結び付けて考えることができる</p>	<p>・中世までの様々な資料から効果的なものを選んでこの時代の特色を説明できる。</p> <p>・地図、統計、実物を使って世界の各地域の特色をまとめることができる</p>	<p>・中世までの歴史の基本的な内容を知っている</p> <p>・世界の地形・地名・産業文化などの特色を知っている</p>	
	<p>通信簿記載 3学期(通年)目標</p>					

	単元名と学習内容	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
4月	1. 地理7日本の基本構成 1 時差 2 日本の範囲 3 日本の地域区分・都道府県 4 日本地図を描く	<p>・ 昨年の世界の学習を終え今年には日本地理を学ぶという意欲を持つことができる。殊性と普遍性に自分で深く考えようとすることができる。</p>	<p>・ 日本の位置・範囲・地図上の形を大きくとらえ世界の他の国と比較できる。 ・ 領土問題で排外的にならない思考ができる。</p>	<p>・ 時差の計算ができる。 ・ 緯度経度を意識して日本列島の略地図を描くことができる。</p>	<p>・ 日本列島の基本の形、都道府県名、地域名を知っている。</p>	<p>日本を国際的に客観的に眺めることから 4-9愛国心</p>
5月	2. 歴史6 中世から近世へ 5 オリエンテーション 弓と鉄砲 6 ヨーロッパの変化①ルネサンス 7 ヨーロッパの変化②宗教改革 8 信長1 大航海時代と信長 9 信長2 桶狭間 10 信長3 堺・延暦寺・石山戦争 11 秀吉1 明智討ち 12 秀吉2 北条攻め・検地と刀狩り 13 秀吉3 朝鮮出兵と千利休 14 家康1 秀頼こと頼み申しそろ 15 家康2 東照神君 大名統制 16 家康3 身分秩序 下剋上の終焉 ■中間テスト	<p>・ 信長・秀吉・家康の人物像を社会全体の流れの中でとらえることに興味を持つ。特に列島内外で独自の発達を遂げた各地域同士が周辺部の交流を通してより大きな近世社会を成立させていく様子に興味を持つことができる。</p>	<p>・ 信長・秀吉・家康の人物の業績を、自由な混乱から統制された秩序へとむかう列島内外の社会全体の流れと関連づけて説明することができる。 ・ 中世から近世への転換点での大きな変化を一人の人物の生き方の中に見つけレポートに表すことができる。</p>	<p>・ 中世から近世への移行に関連する様々な資料を取り上げ時代の変化を説明できる。特に次の生活資料を使って時代の変化を説明できる。木綿・たばこ・とうがらし・さつまいも・陶器・銀貨と銅銭</p>	<p>・ 次のできごとや人物名を知っている。 ・ 大航海時代・宗教改革・ルネサンス・鉄砲 キリスト教伝来・長篠合戦・織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・太閤検地と刀狩り（兵農分離） ・ 朝鮮出兵・南蛮文化・朱印船貿易</p>	<p>中世から近世の混乱期の様々な人間の生き方を知ることから 1-2強い意志・不撓不屈 2-1人間愛</p> <p>儒教秩序の淵源を学ぶことから 2-1礼儀 4-9伝統文化</p>
6月	3. 地理8日本の地域(1)九州・中国四国 17 九州1 全体テーマ「環境」 18 九州2 九州の工業と環境 19 九州3 環境と農業～シラス台地と火山 20 九州4 独特な環境～沖縄・長崎・博多～ 21 中国四国1 全体テーマ「人口」 22 中国四国2 人口と工業～瀬戸内工業地域 23 中国四国3 人口と1次産業・南四国 24 中国四国4 人口減少過疎～中国山地 ■期末テストと振り返り	<p>・ 日本の地形、都道府県の位置と名前に興味を持ち、日本全体図や県別地図に親しむことができる。 ・ 九州・中国四国の地理的特色に興味と親しみをもち、積極的に調べ考えようとする。</p>	<p>・ 列島西南部に位置し火山が多いという九州の環境特色からアジアとの交流やシラス台地上の農業の立地条件を説明できる。 ・ 瀬戸内を例に、石炭から石油へのエネルギー転換と工業の人口立地との関連、中国山地の過疎から人口と地理事象の関わりに気付くことができる。</p>	<p>・ 日本列島・都道府県の形から位置と名前を言うことができる。 ・ 九州と中国四国の様々な資料を使って、地域の特色を説明できる。</p>	<p>・ 8 地域区分 47 都道府県県庁名を読み書きできる。 ・ 九州、中国四国の基本地形地名、火山関連の地形、東アジアとの位置関係、沖縄の歴史・自然環境の特性、エネルギーの種類と工業との関連、高度経済成長と人口偏在の関係をj知っている。</p>	<p>沖縄の独特な文化を知ることから4-9愛国心・伝統文化 過疎地域に生きる人の努力を知ることから 4-2公德心・社会連帯</p>
7月	4. 歴史6 近世の日本と東アジア 25 家光1 生まれながらの将軍 26 家光2 島原の乱 27 家光3 鎖国以後 4つの窓 28 孫兵衛の生き方 農民統制 29 ベロ出しチョンマ 30 孫兵衛の冒険Ⅰ新田開発 31 孫兵衛の冒険Ⅱ商品経済の誘惑 32 孫兵衛の冒険Ⅲ商品経済の発達 33 幕府の対応Ⅰ綱吉 34 幕府の対応Ⅱ吉宗と享保の改革 35 幕府の対応Ⅲ田沼と松平 36 新しい力Ⅰ 庶民の文化の誕生 37 新しい力Ⅱ 蘭学と国学 38 幕府の危機 大塩と水野 39 寛政の三奇人 林子平の生き方	<p>・ 江戸時代が今の私たちの生活に深いところにつながっていることに興味を持ち、260年続いた近世日本の社会とそこの中の人々の生き方に興味を持って学ぶことができる。 ・ 商品経済シミュレーションに意欲的に取り組む。 ・ 田沼意次・杉田玄白・高野長英など封建制下に新しい時代を夢見た人々の生き方に興味を持ち、歴史が好きになることができる。</p>	<p>・ 江戸時代がなぜ長く続いたのかを大名統制・農民統制・貿易統制の3つから説明できる。 ・ 近世身分社会の中での農民の生き方を自分のこととして考えどう生きたいか考えることができる。</p>	<p>・ 江戸時代の絵画や実物の写真資料を効果的に使って、時代の移り変わりを説明できる。</p>	<p>・ 次のできごとや人物名を知っている。 ・ 武家諸法度・幕藩体制・城下町・参勤交代・五人組・本百姓・鎖国・寺請制度・出島・島原の乱・4つの窓・徳川家光</p>	<p>「ベロだしチョンマ」で封建社会の制約下での人間の生き方を知ることから 4-3正義</p> <p>田沼意次や林子平など時代を超えた新しい生き方をする人間を知ることから 1-4強い意志・理想実現</p>
	通信簿記載 1学期目標	近世から近代への転換点・西南日本の地理に興味を持ち積極的に調べる。	近世から近代の転換の流れ西南日本の環境人口と生活の関係を説明できる	資料を使って近世末期の様子や西南日本を説明できる。	近世/西南日本の基礎的知識が身に付いている。	

	単元名と学習内容	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
9月	5. 地理9日本の地域(2)近畿・中部・関東 40 近畿1 全体テーマ「歴史」 41 近畿2 歴史環境京都奈良の町並み 42 近畿3 水の歴史～琵琶湖と浜名湖 43 近畿4 工業の歴史～阪神工業地帯 44 中部1 全体テーマ～産業 45 中部2 機械工業自動車企業の今～ 46 中部3 流通と農業2つのセロリ～ 47 中部4 雪と産業～北陸	・産業経済の発展した中央日本の様々な特色や歴史・環境問題などに興味を持ち積極的に調べようとする。	・産業の発展と歴史自然環境の兼ね合いを、京都の町並み保存、琵琶湖の水、東京の都市問題から考えることができる。 ・産業の立地条件を、中京の自動車工業、東海の施設園芸・北陸の水田農業や伝統工業から考えることができる ・高度成長の一極集中の現状と問題を地方や世界との結びつきのあり方から指摘できる。	・中央日本の様々な資料、とくに身近な地域の教材を使って地理的事象を調べ説明できる。	・近畿中部関東の基本地形地名、工業の分類、流通手段の種類、日本国内の環境問題の種類を知っている。	琵琶湖の水保全京都の歴史景観保全の努力を知ることから 4-2公德心社会連帯 産業に従事する勤労者の生き方を知ることから 4-5勤労・社会奉仕
10月	48 関東1 全体テーマ～中央と地方～ 49 関東2 国家の中核～首都東京 50 関東3 過密～東京大都市圏 51 関東4 東京と地方のつながり	・日本の中核としての関東地方に興味を持ち意欲的に調べることができる	・関東地方の特色を様々な資料を使って読み取ることができる	・関東の基本地形地名、地方との交通手段、首都機能の基本事項を知っている。	・次の人物や事項名を知っている。 絶対王政・エリザベス女王・ルイ14世・清教徒革命・名誉革命・権利章典・ルソー・フランス革命・独立戦争・ナポレオン・人権宣言・ワット・蒸気機関・アダムスミス・ニュートン・ターウィント・植民地化・アヘン戦争・南京条約・治外法権・関税自主権・日米和親条約・通商修好条約・安政の大獄・井伊直弼・勝海舟・公武合体・坂本龍馬・薩長同盟・吉田松陰・高杉晋作・木戸孝允・西郷隆盛・大久保利通・岩倉具視・ええじゃないか	市民革命の理念と内容を知ることから 1-4理想の実現 4-2公德心・社会連帯
11月	■中間テスト 6.歴史7.近代の出発 52 初エンターション・近代の夜明け 53 市民革命1 イギリス 54 市民革命2 アメリカとフランス 55 産業革命1 アダムスミスとニュートン 56 産業革命後の世界 ヨーロッパ 57 " インド 58 " 中国 59 アヘン戦争の衝撃 60 時代を生きた人たち・高野長英 61 ペリー来航の衝撃 62 幕府専制の崩壊～安政の大獄 63 ■期末テスト 64 幕府の崩壊2 竜馬暗殺のなぞ 65 幕府の崩壊3 慶喜の行動のなぞ	・ペリー来航などの大事件に自分ならどう対応したかを考え、歴史の転換点に興味を持つことができる。 ・日本とヨーロッパの近世の結末の違いに興味を持ち近代化を生み出した市民革命と産業革命を意欲的に調べることができる。 ・日本の近代化を生み出した人々の動きに興味を持ち意欲的に調べる。	・近代的な理念(科学・技術・経済学・プロテスタンティズム)や担い手(商工業者・絶対王政・独立自営農民)がどう市民革命を生み出したかを例を挙げて説明できる。 ・市民革命と産業革命と植民地侵略の因果関係を説明できる。 ・攘夷から倒幕へなぜ転換したのか、幕府支配層・豪農豪商・下層民衆の立場に分けて考えることができる。	・市民革命の宣言文から、現代社会と共通する価値を読み取ることができる。 ・産業革命に関する諸資料(蒸気機関写真・綿糸実物など)から歴史の流れを体感し読み取ることができる ・幕末の諸資料を効果的に使って、当時の情勢を的確に説明することができる	・高野長英・徳川慶喜などの生き方を知ることから 1-2強い意志	
12月	7. 地理10日本の地域(3)東北・北海道 67 東北1 全体テーマ～生活文化 68 東北2 津波と冷害 69 東北3 米の現在と未来 70 東北4 伝統文化と将来	・自然と伝統文化が豊かな東北日本の姿や特色に興味を持ち意欲的に調べようとする。	・東北の伝統文化の豊かさの背景を高度成長から外れた地域としての特色から具体的に説明できる。	・東北北海道の資料を読み取り、その地域の特色を調べることができる	・東北北海道の基本地形地名、農業を中心とする基本産業の内容、東北の伝統文化の代表的なものを知っている。 ・近世から近代への流れ、日本中央部の基礎的知識が身に付いている。	自然災害の大きさを知らることから 3-1生命尊重 3-2自然愛・畏敬の念
	通信簿記載 2学期目標	・近世から近代への流れ、日本中央部に興味を持つ	・欧米の近代化～江戸幕府崩壊の流れ、日本中央部の産業立地の背景を説明できる。	・資料を使って市民革命～江戸幕府崩壊の様子を説明できる。		

	単元名 と 学習内容	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
1月	71 北海道1 全体テーマ～自然～ 72 北海道2 輸入に負けない畑作 73 北海道3 ほくれん丸の秘密～畜産の将来 74 北海道4 ウニ井いくら井かに井～漁業		・周氷河地形と冷帯という独特の自然から北海道の様々な事象を説明できる。			自然条件の制約を克服する人間の活動を知ることから 1-2強い意志
2月	8. 歴史8近代日本の成立と発展 75 新政府の成立勝てば官軍 76 廃藩置県武士がなくなる 77 地租改正天才大久保 78 文明開化つばを吐くな 79 近代化の2つの道 1 政府分裂 大久保と木戸 80 // 2 士族反乱 西郷隆盛 81 // 3 自由民権 板垣退助 82 // 4 自由民権2 大隈重信 83 // 5 政府の対応 井上毅 84 // 6 明治憲法体制の成立 伊藤博文 85 ■学年末テスト 86 日清戦争 伊藤の選択1 87 日露戦争 伊藤の選択2 88 国家目標の達成 伊藤の選択3 89 明治の社会 おじいさんのランプ・産業革命 90 明治の文化 三四郎の成長と啄木の嘆き	・明治維新の变革を担った人々の生き方への興味を取りかかりとして、封建制度から近代社会に生まれ変わる時代の変化をさまざまな角度から調べようとする ・身のまわりの人や地域に、明治の变革とのつながりがあることを知り、歴史を身近に感じることができる。	・廃藩置県（封建制度の支配の仕組みの廃止）地租改正（封建租税の廃止と国家財政の確立）がなぜ必要だったかを説明できる ・政府が民権運動の影響を受けつつそれを排除して強権的近代化路線の明治憲法体制を完成させたことを説明できる ・日露戦争の勝利によって日本が帝国主義国として自立したこと、アジアに対して支配者としての立場に立ったことを説明でき、これがその後の日本の進路を規定したことの是非を考えられる。	・新政府の政策の内容を資料から正しく読み取ることができる。 ・近代化の様子を生活資料から識別できる。また、近代化の様子を資料を効果的に使って説明できる。 ・欧米列強の帝国主義間の力関係を、資料から読み取ることができる。	・次の人物や事項名を知っている。 ・廃藩置県・地租改正・四民平等・学制・徴兵令・岩倉遣欧使節団 ・征韓論・西南戦争・自由民権運動・大日本国憲法・伊藤博文・板垣退助・大隈重信・日清戦争・下関条約・三国干渉・義経団事件・日露戦争・ポーツマス条約・韓国併合	明治維新をになった人たちの生き方を知ることから 1-4理想の実現 帝国主義に進む日本を批判的に眺めた石川啄木や夏目漱石の生き方を知ることから 4-3正義
3月	9. 地理11 身近な地域 91 地形図を知ろう 地形図をおる 92 地形図の使い方1 方位距離 93 地形図の使い方2 等高線 94 地形図の使い方3 土地利用 95 テーマを決めてレポート作り (場合によっては春休み課題) (101 レポート発表会)	・地形図の約束をきちんと知り、身近な地域に興味を持って調べ始めることができる ・地域調査レポートを意欲的に取り組み完成できる	・身近な地域調査に社会科としてふさわしい課題を設定できる。 ・地域調査で実際に調べ自分の考えを深めている	・距離、方位、等高線、土地利用を地形図から読みこなすことができる。 ・地形図その他の資料を使ってフィールドワークの準備ができる。 ・地形図を使ってフィールドワークをしまとめている	・地図記号の主なものを言える ・県西部地形図に出てくる主な地形名を言える	身近な地域を学び愛着を持つことから 4-8郷土愛 自分で計画を立て調査することから 1-3自主自立
	通信簿記載 3学期(通年)目標	・明治まで歴史・世界と日本の姿に興味を持って学ぶようとする	・明治までの日本の歴史がなぜこうなったかを説明できる ・日本の諸地域の特色を調べ、そうなった理由を考えられる。	・明治期の様々な資料からの時代の特色を説明できる。 ・日本の諸地域の統計や資料を正しく読み取り比較対照できる	・明治期までの日本と世界の流れ、日本の諸地域の基本的知識が身についている	

単元名と学習内容		観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
4月	1.歴史9近代の日本の発展と崩壊 1 戦争と革命の時代レオンの予言 2 第1次世界大戦 3 ロシア革命 4 アジアの民族運動 5 ベルサイユ・ワシントン体制 6 大正デモクラシー1 経済 7 大正デモクラシー2 政治 8 大正デモクラシー3 文化 9 世界恐慌1 10 世界恐慌2 4つの解決策 11 世界恐慌3 ファシズムとニューディール 12 満州事変 13 大正デモクラシーの敗北 14 日中戦争 15 太平洋戦争への道 16 太平洋戦争1 17 太平洋戦争2 18 第2次世界大戦の終結 19 中間テスト	・20世紀の2つの戦争の事実 ・第1次大戦の結果を帝国主義的報復と反帝国主義の理想の2つに分け、現在の世界の基本構造であることに気づく。 ・世界恐慌を自由放任の資本主義による過剰生産から説明できる。 ・近代の戦争が周辺諸国や国内の弱い立場の人にどんな被害を与えたか事実を知ろうとする ・戦争を防ぐ方法を、20世紀の歴史の学習を教訓にして考えようとしている。 ・20世紀の歴史を身のまわりの人に聞き取りし、歴史を身近に感じることができる	・第1次大戦の結果を帝国主義的報復と反帝国主義の理想の2つに分け、現在の世界の基本構造であることに気づく。 ・世界恐慌を自由放任の資本主義による過剰生産から説明できる。 ・恐慌の暴力的な解決策(日本の単純な軍事侵略とドイツの大衆幻惑のファシズム)が戦争の原因になった事を指摘できる。 ・日独のファシズム・軍国主義が資本主義の弱肉強食の本質であること、逆に資本主義の理性的修正としてケインズ政策＝ニューディール政策があることを理解できる	・生存者証言・歴史地図や外交資料などから、20世紀の歴史の流れを正確に読み取ることができる。 ・大正期に生まれた現在につながる大衆市民の生活文化を実物資料などから指摘できる。 ・新聞記事の見出し・ドキュメンタリー映像から歴史事実を読みとることができる ・映画やテレビ新聞などのプロパガンダ性・検閲による情報操作を知り、資料を鵜呑みにしないことができる	・第1次大戦から大正デモクラシー時代までの流れを正確に知っている。 ・大正デモクラシーの内容と成果、限界を説明できる ・世界恐慌の内容と影響各国の対応を知っている ・満州事変から太平洋戦争までの歴史の流れを正確に知っている。	反帝国主義の理想を掲げた様々な人たちの生き方を知ることから 1-2強い意志 1-4理想の実現 2-2人間愛 4-2社会連帯 帝国主義戦争の悲惨な現実を知ることから 3-1生命尊重 3-3生きる喜び
5月	2.歴史10現代の日本 20 日本占領とGHQ 21 戦後改革1 上からの民主化 22 戦後改革2 日本国憲法 23 戦後世界の展開 24 朝鮮戦争から冷戦へ 25 「独立」と日米安保条約 26 高度成長の時代 27 高度成長の終焉～田中角栄～ 28 安定成長の時代～中曽根と原発～ 29 米ソ冷戦の終焉・世界の構造転換 30 大震災以後の日本	・現代の日本と世界のあり方を具体的に調べることで、歴史や政治経済の学習そのものに興味を持つことができる	・戦後日本の民主化がニューディール左派と治安維持法で弾圧された日本のリベラルな知識人・官僚によって行われた理想的な改革だったことに気づくことができる ・日本の高度成長を成功させた要因を多角的に説明できる ・高度成長が止まった原因を説明できる	・高度成長による社会の変化の具体資料を指摘できる ・体験者に聞き取りや自分自身の記憶をたどることで現代の身近な問題として歴史を学ぶことができる。	・第2次大戦後の世界と日本の基本的な様子を知っている	日本国憲法の理想を知ることから 1-4理想の実現・真理愛
6月	3.公民1.個人と社会 31 オリエンテーション～幸せに生きるために 32 結婚するって 33 どんな家庭を作る 34 マナー・ルール・法律 35 ■期末テスト	義務教育最後の社会科の学習内容に興味を持つことができる。すべては「契約」であることを知り、自由で対等な契約の条件を考える	どんな家族がいいか・やっ ・いいことと悪いことを自分の問題として社会的に考えることができる。	家族・法についての実際の問題を資料から読み取ることができる	婚姻と家族の原則、マナー・ルール・一般法・刑法の区別を知っている	自由で対等な契約を知ることから 2-3信頼 2-4男女の人格尊重
7月	4.公民2憲法と人権・幸せに必要なもの 36 オリエンテーション 世界の人権の歩み 37 日本の人権の歩み 38 歌になった前文 39 平和主義の原則 40 平和主義の現実 41 平和主義の将来と沖縄	(2学期に記載)	・平和主義の理念と現実の相違の背景を説明できる ・平和主義の将来のあり方について対立する考え方を自分の問題として考え判断に悩むことができる		・市民革命の歴史・国家主体のドイツ系法理念を受けた旧憲法と現在の憲法の違いを知っている ・9条の成立・変質・現状の動きを知っている	平和主義の理想と現実を知ることから 4-10国際理解人類愛 1-3理想の実現
	通信簿記載 1学期目標	現代の日本と世界の様々な問題に興味を持ち、現代史を意欲的に調べようとする	第2次大戦～現在までの歴史の流れの因果関係を説明できる	現代史の様々なできごとを説明する資料を選択し読み取ることができる	現代の日本と社会の歴史の基本的な事項を知っている	

	単元名と学習内容	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
9月	42 平等権1理念 43 平等権2現実 44 中間テスト・ふりかえり 45 自由権～逮捕状から 46 社会権～保険証の意味 47 新しい人権～水俣病 48 人権を守る努力～朝日訴訟 49 人権の使い方～公共の福祉とは～	基本的人権を知ること で日常生活の様々な問題を社会的な問題を考えられることに気づき、問題解決のための意欲と関心を持つ	・人権をどう使うか、人権実現のためにどうしたらいいかを日常の問題で判断できる	・憲法の条文を正確に読み取れる・新聞・まんが・写真などの文書資料から憲法・人権の問題を読み取ることができる・逮捕状・保険証などの実物資料から憲法人権の内容を読み取ることができる	基本的人権の内容を知っている	憲法と人権の個別の内容から 1-3自主自立 2-2人間愛 2-4男女の人格尊重 濫用の禁止公共の福祉を知ることから 4-1遵法精神
10月	5. 公民3民主政治・幸せの実現① オリエンテーション 三権分立と国会 51 選挙の原則～投票箱の秘密 52 選挙制度～小選挙と比例代表 53 国会のしくみ1～開票・新国会 54 国会のしくみ2～衆議院の優越 55 法の制定と合意の形成～公約実現 56 内閣のしくみ～政策の実行 57 ■中間テスト 58 司法①2つの裁判 59 司法②三審制 60 裁判シミュレーション①シナリオ 61 裁判シミュレーション②判決 62 民主政治まとめ①地方自治 63 民主政治まとめ②地方自治の虚構 64 民主政治まとめ③三権分立の虚構 65 民主政治まとめ④ふりかえり	民主政治シミュレーション(対立する政策と政党・・・税率引き上げ・廃止や原発廃止推進など)に興味を持ち、選挙～法の制定・実行を意欲的に行うことができる 裁判シミュレーションに興味を持って参加できる	・消費税や原発をどうしたらいいかを自分の問題として考え、両方の主張を理解して投票することができる ・多数決の過程で合意形成のための努力をすることができる 裁判の判決を考え、良識のある判決を出すことができる 日本の民主政治の課題を考えることができる	選挙公報・投票結果などシミュレーション資料を正確に読み取ることができる 裁判のシナリオを読み込み、自分の役割を気持ちを入れて読み込むことができる	・三権分立による議会制民主主義のしくみを正確に説明できる ・司法・地方自治のしくみを説明できる	民主政治のしくみをし理選挙から法律を作るところまでのシミュレーションを経験することから 4-1遵法精神 4-2公德心 4-4集団生活の向上
11月	6. 公民4経済・幸せの実現②鶴の授業 オリエンテーション～お金って何 67 売買契約～商品を作ろう 68 中間テストふりかえり 69 市場経済シミュレーションの設定 70 企業①鶴の生産 71 企業②会社組織 72 価格と利潤～鶴の価格 73 自由放任～アダムスミスの神の手 74 企業の拡大～株式会社 75 独占と寡占 76 特殊な企業～銀行 77 中央銀行	市場経済シミュレーションに意欲的に参加できる 企業の社員として売り上げを伸ばすために自分の立場で一生懸命になることができる	自由で対等な売買契約・雇用契約を実際に結ぶことができる 鶴の企業を拡大するためにそれぞれの立場で経営を工夫できる 銀行が市場経済に果たす役割を説明できる	商品を考え、効果的な販売法を実践できる 鶴の価格をSD表から読み取ることができる 景気変動のグラフ・資料から景気不景気を読み取ることができる	売買契約成立の原則を知っている 市場経済の3要素の内容を知っている 株式会社・市中銀行・中央銀行の内容としくみを説明できる PL法・クーリングオフの内容を正確に知っている 労働基本権の内容を正確に知っている 景気変動のあらわれを知っている	市場経済シミュレーションで企業を経験することから 4-5勤労・社会奉仕 1-3自主自立 2-5寛容謙虚 市場経済シミュレーションで家計を経験することから 4-6家族愛 1-1基本的な生活習慣 3-3生きる喜び
12月	78 ■期末テスト 79 家計の立場～鶴のできばえ 80 消費者①契約～お客様は神様か 81 消費者②安全～PL法 82 労働者①もーれつ社員 83 労働者②労働組合の作り方 84 家計のまとめ～糸を通そう 85 景気変動①景気と不景気 86 景気変動②恐慌とバブル	家計の立場からきれいな千羽鶴を作るために一生懸命になることができる	消費市場経済では建前の平等とは裏腹に絶えず不利な立場に追い込まれることを説明でき、自分と家族を守るためにどう行動したらいいか実行できる 金利の上下を判断できる	景気変動のグラフ・資料から景気不景気を読み取ることができる		
	通信簿記載 2学期目標	民主政治・経済に興味を持ちシミュレーション学習に意欲的に取り組みむことができる	民主政治・経済の仕組みを理解し、個人と全体の幸福実現のためにどう行動したらいいか考え判断できる。	民主政治・経済の動きを表す資料を正しく読み取り、考えを深めることができる	民主政治・経済のしくみの基本的な内容を知っている	

	単元名 と 学習内容	観点1 関心意欲	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用の技能	観点4 知識・理解	道徳との関連
1 月	87 政府の役割～野島商事倒産 88 税のしくみと種類～税を取ろう 89 税の取り方～累進課税と再分配 90 税の使い道～スミスとケインズ 91 国際経済～貿易の意義 92 円高円安～外国為替のしくみ 93 日本経済の現実①戦前 94 日本経済の現実②戦後民主化	・野島商事倒産を受けてクラスに政府を作ることに積極的に参加できる ・他のクラスとの貿易に興味を持ち実行できる ・高度成長後の日本の現状に興味を持ち自分の問題として考えることができる	大きな政府と小さな政府の違いを説明できどちらがいいか考えることができる ・円高円安の要因と影響を説明できる ・高度成長を支えた要因をエネルギー革命・戦後民主化と米ソ冷戦から説明できる	課税率グラフから税の取り方を読み取ることができる ・GNP の成長のグラフから日本経済の特色をつかむことができる ・世界各国の GNP 成長グラフから世界経済の問題の背景を読み取ることができる。 ・現状新聞・映像などの資料から日本と世界の経済問題を読み取ることができる	主な税の種類と内容、大きな政府と小さな政府の違いを説明できる ・自由貿易の意義と問題点、政府の役割を知っている ・日本経済の大きな流れを説明できる	市場経済シミュレーションで政府を経験することから 4-2公正公平 4-2社会連帯 日本経済の現実を知ることから 4-8郷土愛 4-9愛国心 世界経済の現実を知ることから 3-1生命尊重 4-10国際理解人類愛
2 月	95 日本経済の現実③高度成長 96 日本経済の現実④高度成長の陰で 97 日本経済の現実⑤現状と課題 98 世界経済の現実①産業革命 99 世界経済の現実②地球環境問題 100 世界経済の現実③戦争と核 101 世界経済の現実④社会主義 102 世界経済の現実⑤多極化と日本 103 ■学年末テスト	・温暖化・戦争・貧困という世界の現状を自分の問題としてとらえることができる	・世界の課題を産業革命後の経済発展から説明できる		・産業革命後の世界経済の流れを説明できる	
3 月	義務教育の最後に～幸せとは何か～ 104 幸せについて考える～「学校」より① 105 幸せについて考える～「学校」より② 106 幸せについて考える～「学校」より③ 107 幸せについて考える～「学校」より④	・義務教育後の自分の生き方を真剣に考えることができる				義務教育を振り返り将来を考えることから 2-6感謝 1-5向上心
	通信簿記載 3学期(通年)目標	・現代史に興味を持ち、幸せに生きるための政治経済をはじめとする世の中のしくみに興味を持ち、積極的に学び考えることができる	現代史・憲法と人権・民主政治・経済の理念、しくみと実際の動きを知り、どう活用するか多角的に考え、最善を方法を判断し行動できる	・現代史と、現在の世の中の様々な動きを示す資料を観察し多角的に正確に内容を把握できる	・現代史・憲法人権・民主政治・経済の基本的な知識を身につけている。	